

Ⅲ わくわく問題（教科横断型問題）について

○問題の内容

- ・教科の枠を超えた、日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題
- ・文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材とし、問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

○今年度の出題の特徴

- ・問題1は、児童にとって身近な「ソース」を題材とし、種々の資料を読み取り、それに基づいて思考する力や、自分の立場を明確にした上でその理由を表現する力を育てることを目的として出題されている。
- ・問題2は、ロボット掃除機の観察をきっかけとして、ロボットやAIに関連する諸技術やその活用に興味・関心を広げていく中で、論理的に思考し問題を発見・解決していく力を育むことを目的として出題されている。
- ・問題3は、大阪万博から世界に広まった「ピクトグラム」を題材とし、ピクトグラムがどのようなものかを知るとともに、資料を分類・整理すること、会話と資料を関連付けること、相手にわかりやすく伝えるための工夫を考え表現することを目的として出題されている。

○問う力の観点

- ・児童が、多様な他者と協同し、探究的な学習を進め、生きる力を伸ばすために必要な力として、以下の5つの観点に整理されている。

- A：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる
- B：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える
- C：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える
- D：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える
- E：興味・関心のある事गरらについて、意欲的に工夫して相手に伝える

○豊中市の強み・課題、指導改善のポイント等の解説について



- ・豊中市の子どもたちの強みや課題について示すとともに、課題の解決に向けた授業改善や取組みのポイントを示しています。

5・6年生 わくわく問題（教科横断型問題）

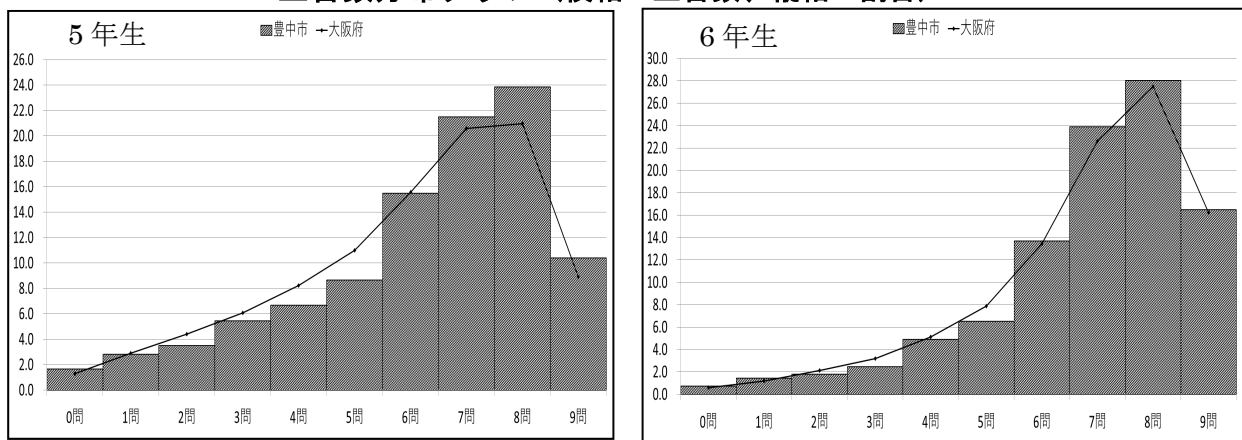
【5年生・6年生に見られる強み】

- ・多くの問題において大阪府の平均正答率を上回っています。
- ・B「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けてそれをもとに論理的に考える観点」やD「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けてそれをもとに自分の考えをまとめ伝える観点」の問題において、特に正答率が高くなっています。

【5年生・6年生に見られる課題】

- ・E「興味関心のある事गरらについて意欲的に工夫して相手に伝えることや自身で考えたことを伝える観点」の問題において、大阪府の平均正答率をやや上回っています。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



5・6年生ともに、総問題数9問中、正答数8問を頂点とする右寄りの山型に分布している

○【観点A】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			5年	6年	5年	6年
1 (1)	「ソース」についての資料を読み、その資料をまとめた図にふさわしいイラストを2つ選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・選択式 	78.1	75.1	85.5	83.8
			5年	6年	5年	6年
2 (2)	ロボット掃除機に使われているセンサーについてまとめた資料1、表1から、タブレット端末に使われているセンサーを2つ選択して書く	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・記述式 	74.3	69.8	82.0	80.4
			5年	6年	5年	6年
3 (2)	案内所の記号について話し合っている会話文をもとに、それぞれがどの資料を見て話し合っているか、ふさわしい資料を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・会話から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・理由や根拠を明確にして伝える ・選択式 	50.5	45.3	57.0	56.3
			5年	6年	5年	6年

【できている・概ねできている】

- 1 (1) 文章から適切な資料を選ぶ。
- 2 (2) 2つの資料を比較しながら、情報を整理して正しく読み取る。
- 3 (2) 表で示された多様な考えを基準に沿って分類し、抽象化する。

○【観点B】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)
			5年	6年	正答率(%)
1(2)	【ソースについてのアンケート結果】と色分けされた地図の資料をもとに、地方ごとによく使われるソースの特徴を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・記述式 	5年	46.1	46.4
			6年	52.3	54.3
2(1)	ロボット掃除機の動きをもとに、正しい図を1つ選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・選択式 	5年	73.0	69.6
			6年	78.8	77.8
2(3)	資料3、資料4、資料5、資料6をもとに、社会問題を解決するために作りたいロボットについて書く	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・自身で考えたこと伝える ・理由や根拠を明確にして伝える ・記述式 	5年	20.1	18.3
			6年	29.7	27.9
3(1)	ピクトグラムについての会話と資料を整理し、どのようなときに役立つかをふさわしい言葉で書く	<ul style="list-style-type: none"> ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・記述式 	5年	35.5	33.0
			6年	45.1	43.2

【できている・概ねできている】

- 2 (1) 与えられた情報を理解し、条件に沿って論理的に考える。
- 2 (3) 与えられた資料をもとに、理由や根拠を明確にして自分の考えを書く。
- 3 (1) 会話文から、与えられた条件にしたがって記号を分類し、抽象化する。

【課題が見られる】

- 1 (2) 与えられた表をもとに、適切な文を書く。

課題があった問題（問題 1（2））

■児童にとって身近な「ソース」を題材とし、種々の資料を読み取り、それに基づいて思考する力や、自分の立場を明確にした上でその理由を表現する力を育てることを目的とした問題

正答率 5年生：豊中市 46.1% 大阪府 46.4%
6年生：豊中市 52.3% 大阪府 54.3%

① あかねさんは、給食で出てきたソースが、家で使っているソースよりも、とろりとしていることに気がつきました。給食の後、友だちとそのことについて話してみると、とろりとしているソースをよく使う人と、さらりとしたソースをよく使う人がいることがわかりました。

ソースにはいくつかの種類がありそうだね。みんなで調べてみようよ。



(2) ソースの種類を調べる中で、はるとさんは疑問をもちました。



家庭によって、よく使うソースの種類が違うんだね。どのソースが多く使われているのかな。

調べていくと、次のような【ソースについてのアンケート結果】を見つけました。

【ソースについてのアンケート結果】

質問：あなたの家にはどのソースがありますか？
2つ以上答えてもかまいません。

地方ごと 100人に質問して「ある」と答えた人数

	ウスターソース	中濃ソース	とんかつ(濃厚)ソース
北海道	41人	64人	31人
東北	33人	75人	22人
関東	43人	70人	27人
中部	62人	46人	29人
近畿	71人	15人	55人
中国	70人	25人	33人
四国	72人	28人	46人
九州・沖縄	75人	25人	48人

(「新経産44」日本ソース工業会の資料により作成)



「家にある」と答えた人が多いソースほど、よく使われると考えられるね。

よく使われるソースは、地方によって違いがありそうだね。地図を色分けしてみたらわかりやすくなるかな。



問い あかねさんは、次のように地図を使って、よく使われるソースについて色分けと白分けで分け、わかったことを自主学習ノートにまとめました。

色の地方と白の地方で、よく使われるソースには、それぞれどのような特徴がありますか。【ソースについてのアンケート結果】をもとに、①・②にあてはまる内容を書きましょう。

【あかねさんの自主学習ノート】



（ 正答の条件 ）

次の条件をすべて満たして解答しているもの

- ① ①に適切な内容を書いている
- ② ②に適切な内容を書いている。

（ 正答例 ）

- ・①「中濃ソース」が一番よく使われている
- ・②「ウスターソース」が一番よく使われている

〈 解説 〉

表やグラフを扱う際に、どのようなところに特徴があるのかを読み取り、読み取ったことを児童の言葉で言語化する機会を充実させることや、地図などの様々な情報と関連付けて考えさせることが必要である。

改善に向けて

表やグラフを読み取る時は、何について表した資料なのか考え、特徴的なところに印をつけたり、その資料からわかることを文に書き表したりすることが大切です。

また、情報を分類するときには、共通することやちがいが何かを見つけるようにしたり、共通することをグループに分けて考えたりすることも大切です。

○【観点C】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			正答率(%)		正答率(%)	
2(3)	資料3、資料4、資料5、資料6をもとに、社会問題を解決するために作りたいロボットについて書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	20.1	18.3	
			6年	29.7	27.9	
3(3)	大阪を訪れる世界中の人が困らないように何をするとおころかを伝えるピクトグラムについて、自分で考えた記号を書くとともに、工夫した点についても文章で書く	<ul style="list-style-type: none"> 会話から読み取る 自身で考えたことを伝える 図表に表す 記述式 	5年	82.7	81.9	
			6年	88.0	88.2	

※3(3)は、観点Eの欄へ記載

○【観点D】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			正答率(%)		正答率(%)	
1(3)	ソースの容器として、「プラスチック容器」と「ガラス容器」のどちらがよいか、資料から特徴を選び、自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 会話から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	43.8	40.1	
			6年	53.9	52.6	
2(3)	資料3、資料4、資料5、資料6をもとに、社会問題を解決するために作りたいロボットについて書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	20.1	18.3	
			6年	29.7	27.9	
3(1)	ピクトグラムについての会話と資料を整理し、どのようなときに役立つかをふさわしい言葉で書く	<ul style="list-style-type: none"> 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 記述式 	5年	35.5	33.0	
			6年	45.1	43.2	
3(3)	大阪を訪れる世界中の人が困らないように何をするとおころかを伝えるピクトグラムについて、自分で考えた記号を書くとともに、工夫した点についても文章で書く	<ul style="list-style-type: none"> 会話から読み取る 自身で考えたことを伝える 図表に表す 記述式 	5年	82.7	81.9	
			6年	88.0	88.2	

【できている・概ねできている】

1 (3) 資料から読み取った内容をもとに、理由や根拠を明確にして書く。

※3 (3) は、観点Eの欄へ記載

○【観点E】「興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
3(3)	大阪を訪れる世界中の人が困らないように何をするとおころかを伝えるピクトグラムについて、自分で考えた記号を書くとともに、工夫した点についても文章で書く	・会話から読み取る ・自身で考えたことを伝える ・図表に表す ・記述式	5年	82.7	81.9
			6年	88.0	88.2

【課題が見られる】

3 (3) 図や会話文をもとに、新たな課題を考え、自分の考えを記号や言葉にまとめ伝える。

課題があった問題 (問題3 (3))

■大阪万博から世界に広まった「ピクトグラム」を題材とし、ピクトグラムがどのようなものを知るとともに、資料を分類・整理すること、会話と資料を関連付けること、相手にわかりやすく伝えるための工夫を考え表現することを目的とした問題

正答率 5年生：豊中市 6.2% 大阪府 5.2%
6年生：豊中市 6.6% 大阪府 7.4%

③ 2025年に大阪・関西万博が開かれる予定です。ゆいさんたちのクラスでは、万博について興味をもったことを、班ごとにくわしく調べることにしました。

(3) ゆいさんたちはそれぞれ、記号を作りました。まずは、えりかさんが自分の作った記号を見せながら、どのような工夫をしたのか班のみんなに話しています。

【えりかさんの作った記号】



うどん店

わたしは、うどんが食べられるお店の記号を作ってみました。うどんを知らない人にもどういふ食べ物かわかるように、麺を太くしたり湯気をつけたりしたよ。



えりか



レオン

この記号なら、あたたかい種類の料理が食べられるお店だということが伝えられそうだね。

～(ゆいさんたちの話し合いは続く)～

問い 大阪を訪れるすべての人が困らないように、何をするとおころかを伝える記号をあなたが作るとしたら、どのような記号を作りますか。

【記号】のらんに、あなたの考えた記号をかき、【記号にしたもの】のらんに、何を記号にしたのか言葉で書きましよう。また、【工夫】のらんに、記号を作るときにどのような工夫をしたか文章で書きましよう。※下のわくは、下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙にかきましよう。

【記号】

【記号にしたもの】

【工夫】

(正答の条件)

次の条件を全て満たして解答しているもの

- ①【記号】に記号を書いている
 - ②【記号にしたもの】に何を記号にしたかを
書いている
 - ③【工夫】にどのような工夫をしたのかを書
いている
- ・①②③のいずれかを満たしているもの(準
正答)

(正答例)

①【記号】



②【記号にしたもの】薬局

③【工夫】薬が買えるお店だということがす
ぐにわかるように、カプセルと薬のびんをか
きました。

〈 解説 〉

このように解答した児童の中でも、①【記号】や②【記号にしたもの】について書くことができていたが、③【工夫】について書くことができていない児童が多かった。【工夫】については、問題の会話文を参考に書くことができるが、問題を読み取ることができていない可能性がある。自分で考えたことを相手に伝える際にどのように伝えたらよいか普段から意識したり、伝えたりする機会を持つことが必要である。

改善に向けて

自分の考えを伝えるためには、学校生活の中で、自由な発想から物事を考える活動を行うことが大切です。また、様々な授業で作品を作った際に、工夫した点等を言語化する機会を持つことも必要です。

また、子ども達の思考力・判断力・表現力を育成するためには、子ども達に「考えること」を意識させることが必要です。思考力・判断力・表現力を育成するためのプロセスとして、探求的な学習活動を設定することは欠かせません。

- ①情報を言語により分析し、まとめたり、表現したりする学習活動
- ②他者と協働して課題を解決しようとする学習活動
- ③「考えるための技法」が活用されるようにすること

教科横断的な学習等において、上記3つのポイントをもとに学習活動をすすめることが大切です。

一人一台端末の学習ツールの活用、イメージマップやくま手チャート等の「シンキングツール」の活用により、考えを可視化することが重要です。一方で、ツールの活用自体が目的化しないよう、学習の過程において、どのような意図で、どのように使用するかを計画的に考えた上で進める必要があります。